

駒澤大学

社会変革に対応し未来を担う人材のため、大学教育と連動した入試改革を推進する駒澤大学。基礎学力と「思考力・判断力・表現力」を重視する一般選抜や、さまざまな実績や経験を多面的に評価する総合型・学校推薦型選抜により、受験生の日々の努力と輝く個性を評価する選抜をめざす。

一般選抜は「思考力・判断力・表現力」を重視

英語外部試験利用も段階的に拡大

一般選抜は、「T方式（同一配点型）」「S方式（特定科目重視型）」「全学部統一日程」の3方式を実施。全学部統一日程はオールマークシート方式で最大3学科（専攻）まで併願可能。全学部・学科（専攻）において、3科目を基本とした大学独自問題による入学者選抜を行う。基礎学力評価を中心としつつ、課題解決に向けて探究する能力等を育成するため、「思考力・判断力・表現力」の評価を重視する出題を行う。

大学入学共通テストを利用した選抜は3教科を基本とし、全学部・学科（専攻）で実施。独自の2次試験は行わない。学部によって前期・中期・後期の期間に出願する機会がある。

英語外部試験利用については従来から利用していた全学部統一日程に加え、グローバル・メディア・スタディーズ学部のS方式にも利用を拡大。グローバル・メディア・スタディーズ学部・経済学部では、所定のスコアを満たした場合、卒業に必要な単位としての認定も可能。入学者選抜における利用方法は、①大学独自問題による英語を受験、②英語外部試験の成績を提出、③双方を受験し高得点の方を採用、このいずれかを選択可能。

出願書類と試験科目により

学力の3要素を多面的に評価

総合型選抜では、「知識・技能」「思考力・判

断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的に評価。自己推薦選抜（総合評価型および特性評価型）の選考は、出願書類、小論文、面接・口頭試問等各学科が定める試験科目により実施。出願書類は各学科のアドミッション・ポリシーに基づいて丁寧に評価する。

プレゼンテーションによる新たな選抜の実施

さらにウィズ・コロナ時代にも対応

グローバル・メディア・スタディーズ学部では、自己推薦選抜（特性評価型）にプレゼンテーションによる方式を取り入れている。試験当日に発表されたテーマに沿ってその場でインターネット等から必要な情報を収集し、プレゼンテーション資料の作成と発表および質疑応答を行う。さらにウィズ・コロナ時代への対応として、すべての学科で自己推薦選抜（特性評価型）の選考にオンラインによる面接・口頭試問を導入。

2022年、「智の蔵」をコンセプトとした

新図書館が開館予定

駒澤大学は開校140周年を記念し、「大学の知」を発信する新たな拠点として新図書館を建設中だ。地上6階地下3階の開放感あふれる館内では、「智の蔵」をコンセプトとして階層ごとに「収蔵」「交流」「学修」「調査」「研究」の概念を設ける。閲覧席の他に個人ブースやグループ学修スペース、可動式テーブル席、ソファ席などを設置し、居心地のいい空間を提供する。

INFORMATION

think!

駒澤大学受験生サイト

入学者選抜情報・最新のイベント情報は受験生サイトthink!にてご確認ください。



経営学部 教授
入学センター 所長
岸田 隆行

期待する受験生像

駒澤大学は7学部17学科を有し、多様な個性を持つ学生が切磋琢磨する「ワンキャンパス」の大学です。駒澤大学の入学者選抜では、学力のみならず、高校までの多様な取り組みや個性を評価しています。これは決して「基礎学力」の修得を否定するものではなく、むしろ、日々の勉強の積み重ねや課外活動で培った粘り強い努力がより高く評価されるものです。日々の努力を惜しまず、自己研鑽に励み、夢を実現する意欲のある皆さんの受験を期待しています。